

2020年度 宝塚大学社会連携事業

文部科学省から性的指向と性自認に係る児童生徒に対して適切な理解と配慮が必要である旨の文書が発出され5年が経過し、大阪府では「大阪府性的指向及び性自認の多様性に関する府民の理解の増進に関する条例」が2019年10月に施行され、府民の関心・理解を深めるための教育や啓発の必要性が示されています。本学の日高教授の司会進行のもと、学校現場で今何ができるのかを皆様と一緒に考える機会にします。

配信期間

2020年 **12月11日(金)** 10:00 ~
12月19日(土) 15:00

開催方法



オンデマンド配信 視聴時間約3時間

講演

開会

開会挨拶 (5分)

米川 英樹 宝塚大学 学長

第1部

LGBTsに関する国内最新調査の結果から (30分)

日高 庸晴 宝塚大学看護学部 教授

札幌における同性パートナーシップ制度導入の経緯と施策の現状 (30分)

須田布美子 須田布美子法律事務所 弁護士

当事者を対象にしたLINE相談にじいろTalk-Talkの現場から (30分)

工藤久美子 NPO法人北海道レインボー・リソースセンターL-Port 代表

ゲイの僕がYouTubeで伝えたいこと (30分)

かずえちゃん YouTuber

第2部

LGBTsに関する教育映像試写会 (内容の紹介は裏面をご参照ください)

当時に寄り添うために～教育現場での落とし穴～【文部科学省特選】 (38分)

第3部

ディスカッション (30分)

司会 日高 庸晴 宝塚大学看護学部 教授

- 参加費：1,000円
- 支払方法：申込受付後、支払方法を個別にご連絡いたします。
- 対象：教員、スクールカウンセラー、医療関係者、人権啓発に関わる方など
- 事前申込：Web(health-issue.jp/s/)からの申込フォームあるいは裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、ファックスでお申し込み下さい。

申込締切

12月8日(火)

Web申込フォームはこちらのQRから



LGBTsの児童生徒の存在に配慮して
子どもたちの命を守る学校の取り組み

LGBTsに関する教育映像試写会

当事者に寄り添うために ～教育現場での落とし穴～

教育現場にLGBTsの児童生徒は一定数存在しているにも関わらず、実際にその当事者と対応経験のある教員は多くありません。当事者の多くは、誰にも話すことが出来ずにいる場合が圧倒的に多く、葛藤や苦悩を抱えていることが少なくありません。最大限の想像力を持ち、こういった状況への配慮が求められます。

この巻ではLGBTsの児童生徒のみならず彼らを取り巻く非当事者の児童生徒の存在やその関わりにあたって、教員が留意すべき心得や、学校での取組や授業展開の注意点などを物語仕立てで紹介します。教師の不適切な声掛けや授業展開がどのような深刻な事態をもたらす可能性があるか具体的に描く一方、目指すべき理想的な対応の一例も示します。

(約38分)



参加申込書

以下の項目にご記入の上、ファックスにて送信して下さい。

フリガナ			
氏名			
所属		お電話番号	
メールアドレス			
職種			
学びたいこと			

宝塚大学

ファックス番号

06-6373-4829